



マーケット・レポート

# Weekly Guide 2026.6.1

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご視聴いただけます！



## 主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米国とイランが60日の停戦に暫定合意したと伝わり、原油価格が下落し、株式と債券は続伸しました。S&P500指数は週間で+1.4% (9週続伸)、ナスダック総合指数は同+2.4%、独DAX指数は同+0.9%、日経平均株価は同+4.7%上昇し最高値を更新しました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲12bpの4.44%、ドイツは▲10bpの2.94%と3週ぶりの3%割れ、日本は▲10bpの2.67%に低下しました。ドル円相場は前週末比9銭円安・ドル高の159円27銭で引け、WTI期近は前週末比▲9.6%の87.4ドル/バレルに低下しました。

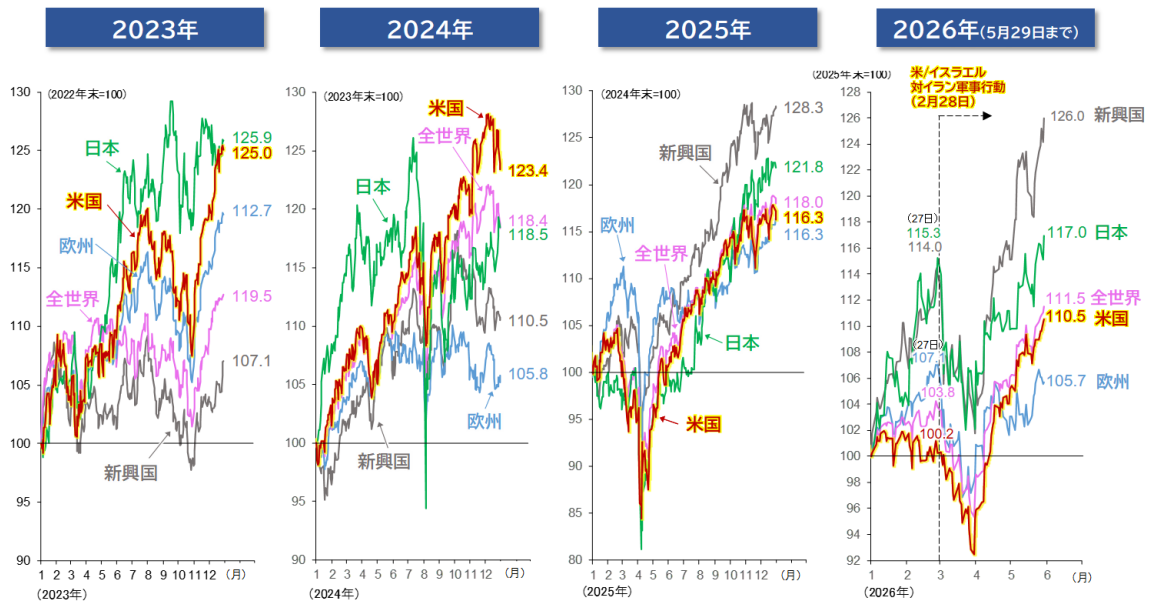
今週、米・イランの停戦暫定合意に対するトランプ大統領の最終判断が注目されます。経済指標では米雇用統計や各国のPMI (購買担当者指数) が注目されます。国内では、植田日銀総裁の講演が予定されており、利上げの地均しとなるような発言があるかに市場の関心が集まります。

## 当面の注目イベント

- ★中・5月製造業PMI (1日)
- ★米・5月ISM製造業・新規受注DI (1日)
- ◆米・4月JOLTS (求人数) (2日)
- ◆日・植田日銀総裁講演 (きさらぎ会) (3日)
- ◆グローバル 5月総合PMI (3日)
- ◆米・5月雇用統計 (5日)

★：りそな景気先行指数関連指標

世界株価・地域別指数の年初来パフォーマンスでは、新興国が世界株価指数を上回っています。半導体・電子部品株の比重が大きい韓国(年初来+127.0%)と台湾(同+60.0%)が大幅上昇し、指数全体の上昇に寄与しています

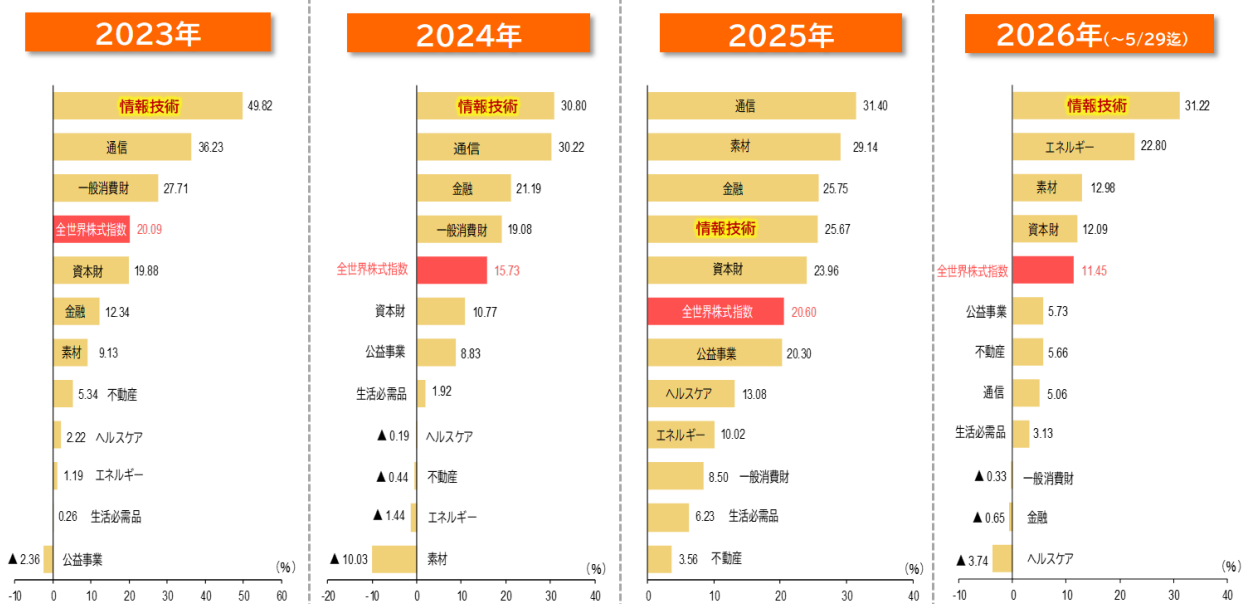


※米国: MSCI USA指数、欧州: MSCI Europe指数、日本: MSCI Japan指数、全世界: MSCI オール・カントリー・ワールド指数、新興国: MSCI エマージング・マーケット指数 (すべて現地通貨建て、配当なし)

【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

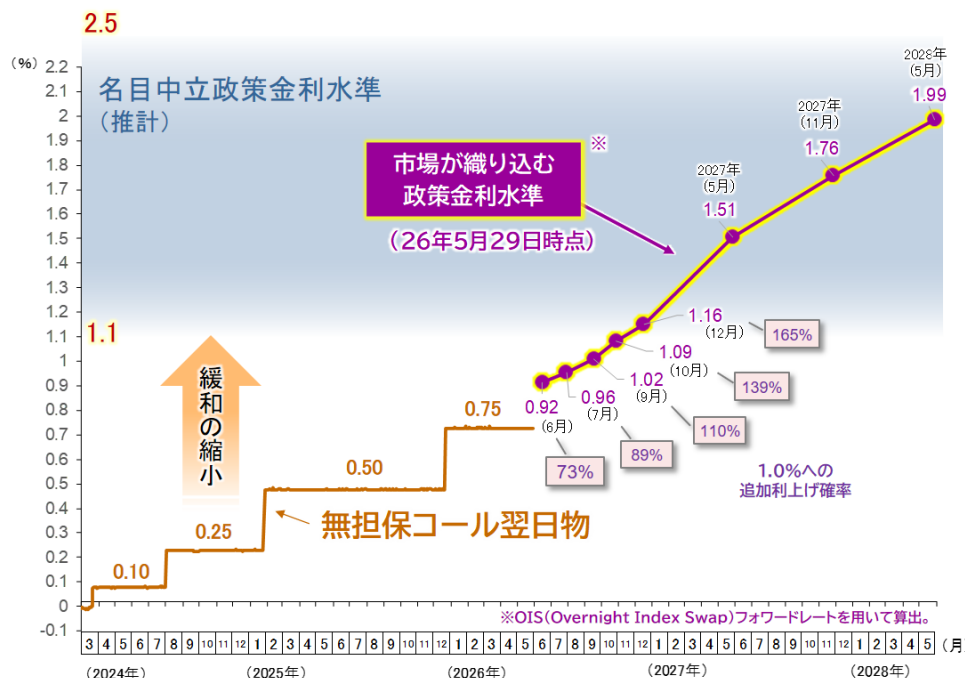
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

世界株価の業種別指数の年初来騰落率ランキングでは、「情報技術 (+31.22%)」「エネルギー (+22.80%)」が大幅に上昇する一方、「ヘルスケア」「金融」「一般消費財」がマイナスとなるなど物色の2極化傾向がみられます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

短期金融市場が織り込む6月日銀会合での利上げ (0.75%→1.0%) 確率は、先週末時点で73%です。日銀が6月利上げの方針を固めている場合、3日の植田総裁講演では、地均しとなる発言があるとみられます



【出所】ブルームバーグ、東京短資の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年6月8日 発行予定です

＜当資料に関するご留意事項＞

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。